

第7章 産業廃棄物

第1節 産業廃棄物の排出・処理状況

産業廃棄物とは、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、廃プラスチック等の20種類のことをいいます。このうち、爆発性、毒性、感染性などにより、人の健康及び生活環境に被害を及ぼすおそれのある産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物として定められています。

これらの産業廃棄物は、排出した事業者が自らの責任において、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に定める基準に従い処理しなければなりません。また、その処理を他人に委託する場合は、廃棄物処理法上の許可を有する業者に委託しなければなりません。

1 種類別排出量・割合

平成28年度に市内の主な事業場等が排出した産業廃棄物の量は32.5万トンです。

排出量を産業廃棄物の種類別に見ると、最も多い汚泥が18.9万トンで全体の58%を占め、以下、ばいじん6.2万トン（19%）、がれき類2.6万トン（8%）と続き、これら3種類が全体の85%を占めています。

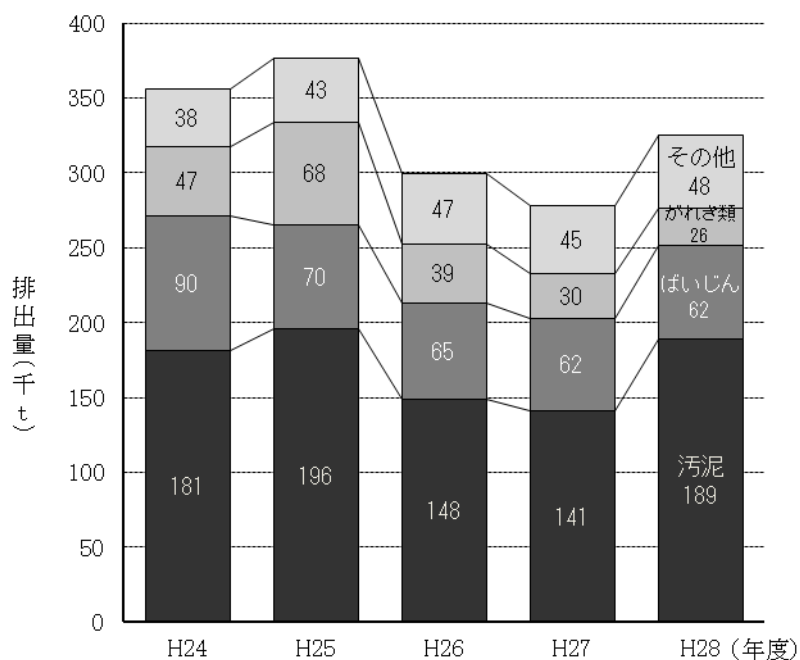


図7-1-1 排出量の推移

2 種類別処理実績

排出された産業廃棄物32.5万トンのうち、汚泥及びがれき類の10万トンは排出事業者が自ら中間処理（汚泥の脱水、がれき類の破碎）し、減量化及び再生利用されています。処理業者に処理委託される量は、埋立（最終処分）が1万トンで、破碎、焼却などの中間処理が17万トンです。中間処理のうち再生利用業者への委託が13万トンで、中間処理全体の76%を占めています。

表7-1-1 産業廃棄物の種類別排出量と処理実績 ※1

(単位：t)

廃棄物の種類	排出量	保管量	有価売却	自社中間処理	自社処理後再生利用	計	委託処理			
							埋立	中間処理		
								市内	市外	内再生利用※3
1 燃え殻	8,822					8,822	4		8,818	8,818
2 汚泥※2	186,187	1,260	6,809	98,030	1,322	48,330	7,977	26,593	13,760	12,786
3 廃油	1,645		173			1,526		7	1,519	626
4 廃酸	96					96		6	90	
5 廃アルカリ	14,133					14,133			14,133	12,148
6 廃プラスチック類	1,639		261			1,377	33	707	637	802
7 紙くず	303		290			13		6	7	12
8 木くず	2,657					2,657		2,252	405	2,203
9 繊維くず	31					31		27	5	25
10 動植物性残さ	540		496			44		5	40	34
11 動物系固形不要物										
12 ゴムくず										
13 金属くず	3,143		2,893			250		122	128	244
14 ガラスくず等	2,483					2,483	1,154	337	992	1,156
15 鋳さい	2,216					2,216			2,216	2,216
16 がれき類	25,624			1,539		24,724	683	14,645	9,395	23,552
17 動物のふん尿										
18 動物の死体										
19 ばいじん	61,846		50			61,796			61,796	61,796
20 13号廃棄物										
21 混合物	455					455	42	287	126	113
22 特管廃油	2,350	11				2,340		0	2,340	784
23 特管廃酸	2,866	370	2,146			350			350	1
24 特管廃アルカリ	393					393			393	
25 特管感染性廃棄物										
26 特管廃PCB等	72					72			72	
27 特管PCB汚染物	75					84	9		75	
28 特管PCB処理物										
29 特管指定下水汚泥										
30 特管鋳さい										
31 特管廃石綿等										
32 特管ばいじん										
33 特管燃え殻										
34 特管廃油	0					0			0	
35 特管汚泥	3,166	2,100				2,057		250	1,807	991
36 特管廃酸	4,488					4,488			4,488	
37 特管廃アルカリ										
38 特管物処理物										
39 特管混合物										
合計	325,229	3,741	13,118	99,569	1,322	178,737	9,903	45,243	123,591	128,306

※1 産業廃棄物発生量の多い市内の企業と建設工事の集計

(平成28年度実績)

※2 汚泥発生量の把握時点は以下のとおり

- ①製品の生産工程中に脱水・乾燥工程が含まれている場合：その脱水・乾燥工程の後の重量
- ②廃棄物の処理を目的とした汚泥の脱水・乾燥施設である場合：脱水・乾燥前の重量
- ③施設から脱水・乾燥等の工程を経ずに発生する場合：発生時点での重量

※3 中間処理のうち、処理後再生利用を行う処理業者への委託量

第2節 産業廃棄物処理施設

事業者が産業廃棄物を処理する最終処分場（埋立処分場）及び一定規模以上の中間処理施設を設置する場合は、市の許可が必要です。

1 処理施設の種類の設置数

平成29年3月31日現在、産業廃棄物処理施設の設置許可数は74（最終処分場9、中間処理施設65）です（表7-2-1）。

平成28年度は、がれき類の破碎施設（移動式）の新規許可が1件あり、また廃止は4件で、内訳はがれき類の破碎施設（移動式）が3件、汚泥の脱水施設（固定式）が1件でした。

表7-2-1 産業廃棄物処理施設設置許可数

施設の種類の設置許可数		設置許可数
汚泥	脱水施設（移動式）	4
	脱水施設（固定式）	4
	焼却施設	2
廃油	油水分離施設	1
	焼却施設	1
廃プラスチック類	破碎施設（移動式）	1
	破碎施設（固定式）	13
	焼却施設	2
がれき類	破碎施設（移動式）	12
	破碎施設（固定式）	6
木くず	破碎施設（移動式）	5
	破碎施設（固定式）	12
産業廃棄物（汚泥、廃油、廃プラスチック類を除く）	焼却施設	2
	遮断型	1
最終処分場	安定型	3
	管理型	5
合計		74

（平成29年3月31日現在）

2 処理施設の処理実績

平成28年度の市内の産業廃棄物処理施設による産業廃棄物の処理実績は以下のとおりです。

表7-2-2 最終処分場処分実績

最終処分場		処分実績			
種類	設置事業所	埋立面積 (m ²)	埋立容量 (m ³)	処分量 (m ³)	残存容量 (m ³)
遮断型	三井金属鉱業株式会社 三池事務所	945	4,620	0	1,655
	三西開発株式会社	15,262	17,613	0	13,494
安定型	三西開発株式会社	1,000	5,400	0	3,239
	株式会社クリーンアトラス	11,289	90,000	0	0
管理型	三西開発株式会社	39,112	571,000	10,583	399,273
	三西開発株式会社	65,900	233,130	1,380	3,332
	三西開発株式会社	15,600	68,279	0	1,798
	三西開発株式会社	9,108	78,000	0	2,145
	デンカ株式会社	176,000	616,000	43,000	1,231
	合計		334,216	1,684,042	54,963

（平成28年度実績）

表7-2-3 中間処理施設の処理実績

設置事業所	施設名称	許可番号	処理能力	処理実績 (t)					
				汚泥	廃油	廃プラ類	木くず	がれき類	産業廃棄物
㈱磯部	破碎施設 (移動式)	産施19号	432t/日					0	
		産施38号	1,400 t/日					0	
(有)岩藤清掃	脱水施設 (移動式)	産施14号	40m ³ /日	0					
		産施25号	144m ³ /日	0					
オーム乳業㈱	脱水施設	産施7号	12.98m ³ /日	15341					
㈱環境施設	脱水施設 (移動式)	産施9号	47.6m ³ /日	0					
	破碎施設 (移動式)	産施29号	1,320 t/日					0	
		産施30号	112 t/日					0	
喜楽鉱業㈱	油水分離施設	産施10号	134.4m ³ /日		6815				
㈱九州バイオテック	破碎施設	産施54号	30 t/日			0			
			268t/日				0		
		産施55号	10t/日			0			
			61t/日				0		
		産施56号	314 t/日			0			
			493 t/日				11597		
		産施59号	253 t/日						
			226 t/日			0			
		産施57号	355 t/日				0		
	954 t/日						0		
	産施58号	161 t/日			0				
	産施58号	253 t/日				0			
	産施59号	161 t/日			0				
共栄環境開発㈱	脱水施設 (移動式)	産施3号	72m ³ /日	0					
㈱共生	破碎施設 (移動式)	産施52号	1,040 t/日					0	
		産施60号	680 t/日					0	
㈱協和工業	破碎施設 (移動式)	産施37号	1,080 t/日					0	
㈱建光	破碎施設 (移動式)	みなし	1,440 t/日					0	
三新興産㈱	破碎施設	みなし	640 t/日					41015	
三西開発㈱	脱水施設	産施21号	209.76m ³ /日	5990					
		産施44号	180m ³ /日	17290					
	焼却施設	産施45号	95.1 t/日	6511					
			16.4 t/日			45			
		34.4 t/日						0	
柴田産業㈱	破碎施設	産施46号	118.8t/日			107			
			186.7 t/日				141		
		産施47号	3.6 t/日			0			
			15.3 t/日					310	
		産施49号	40t/日			0			
			63 t/日				0		
	169.6 t/日					0			
	産施51号	119 t/日			46				
		187 t/日				0			
大建工業㈱	破碎施設 (移動式)	産施35号	680 t/日					0	
ダイスタージャパン㈱	脱水施設	産施24号	85m ³ /日	3312					
大東商事㈱	破碎施設 (移動式)	産施23号	9.16 t/日			0			
			7.64 t/日				0		
(有)高野環境	破碎施設	産施36号	96 t/日			7025			
			151.2 t/日				44		
㈱東洋ビルド	破碎施設 (移動式)	産施18号	1,320 t/日					0	
(有)徳重産業	破碎施設	産施42号	308 t/日			0			
			308 t/日				3587		
㈱中尾産業	破碎施設 (移動式)	みなし	680 t/日					0	
日本コークス工業㈱	焼却施設	産施8号	61 t/日	20182					
			61 t/日		0				
			61 t/日			0			
			61 t/日						695
ホクザイ運輸㈱	破碎施設 (移動式)	みなし	120 t/日				0		
		産施27号	160 t/日				0		
		産施53号	120 t/日				0		
(有)萬葉	破碎施設	産施31号	10.7t/日			0			
			13.7 t/日				298		
		産施32号	280 t/日					32592	
三井金属鉱業㈱レアメタル	脱水施設	届出	54m ³ /日	8115					
三井住建道路㈱	破碎施設	産施48号	320 t/日					8940	
(有)豊解体工業	破碎施設 (移動式)	産施16号	1,080 t/日					0	
(有)吉田開発	破碎施設 (移動式)	産施50号	680 t/日					0	

※汚泥、廃油、廃プラ類を除く

(平成28年度実績)

第3節 産業廃棄物処理業者

産業廃棄物の収集運搬を業として行おうとする者は、積み下ろしを行う区域を管轄する都道府県知事の許可が必要です。（ただし、政令市内（福岡県の場合、北九州市、福岡市、久留米市、大牟田市）で積み替え保管を行う場合は当該政令市長の許可が必要です。）

また、産業廃棄物の処分を業として行おうとする者は、業を行おうとする区域を管轄する都道府県知事（政令で定める市にあっては市長）の許可が必要です。

1 産業廃棄物処理業許可業者数

市内の収集運搬業許可業者数は、平成29年3月31日現在22業者です。処分業許可業者数は、中間処理が44業者、最終処分が1業者です。

表7-3-1 産業廃棄物処理業許可業者数

業 区 分	許可業者数						
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
収集運搬業	産業廃棄物	137	101	57	36	14	14
	特別管理産業廃棄物	48	38	22	15	8	8
	計	185	139	79	51	22	22
処分業（中間処理）	産業廃棄物	42	41	41	39	41	41
	特別管理産業廃棄物	4	3	4	3	3	3
	計	46	44	45	42	44	44
処分業（最終処分）	産業廃棄物	1	1	1	1	1	1
	特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	1	1	1

（平成29年3月31日現在）

2 処分業者の処理実績

市内の中間処理業者によって、27万トンの産業廃棄物（内特別管理産業廃棄物8万3千トン）が中間処理されました。中間処理の種類別に見ると、がれき類の破砕が8万3千トンで最も多く、以下、ばいじんの溶鉱炉製錬7万4千トン、汚泥の脱水2万4千トン、汚泥の焼却2万トン、木くずの破砕1万6千トンと続いています。

また、最終処分業者によって5万8千トンの産業廃棄物が最終処分（埋立処分）されました。

表7-3-2 産業廃棄物中間処理量

中間処理の種類		取扱量 (t)
処理対象物	処理方法	
汚泥	脱水	23,506
	焼却	20,181
	溶鉱炉製錬	5,256
	その他	760
廃油	油水分離	6,814
廃酸	中和	228
	選別	1
廃アルカリ	中和	526
	圧縮固化	7,025
	水溶化分離	4,721
廃プラスチック類	破碎	1,862
	圧縮	1,722
	その他	506
木くず	破碎	16,454
	切断	98
	その他	80
ガラスくず等	破碎	5,235
	溶鉱炉製錬	398
	その他	388
鉱さい	破碎	371
	セメント固化	370
がれき類	破碎	82,857
ばいじん	セメント固化	791
	溶鉱炉製錬	785
金属くず	破碎	1,133
	切断	168
	その他	221
混合廃棄物	選別	3,496
	圧縮	382
その他	その他	183
	その他	1,683
合 計		188,201

※ 汚泥中間処理（脱水）は、脱水をする前の量
（平成28年度実績）

表7-3-3 特別管理産業廃棄物中間処理量

中間処理の種類		取扱量 (t)
処理対象物	処理方法	
汚泥	溶鉱炉製錬	6,618
廃酸	中和	2,205
廃アルカリ	中和	58
鉱さい	溶鉱炉製錬	294
ばいじん	溶鉱炉製錬	73,353
燃え殻	溶鉱炉製錬	30
感染性廃棄物	溶鉱炉製錬	0
P C B	焼却	236
合 計		82,794

（平成28年度実績）

表7-3-4 産業廃棄物最終処分量

処理対象物	取扱量 (t)
汚泥	50,425
がれき類	7,336
ばいじん	6
廃プラスチック類	36
燃え殻	4
ガラスくず等	17
木くず	2
合 計	57,826

（平成28年度実績）